

日本骨髄バンクの現状（2001年4月末）詳細は別添一覧を参照下さい。

	前月	当月	現在数	累計数
ドナー登録者数	1,582	1,302	136,515	164,927
患者登録者数	137	113	1,586	10,763
骨髄移植例数	59	42	-	3,306

注) 数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。

① クロイツフェルト・ヤコブ病（CJD）への対策について

本年1月から3月にかけて、厚生労働省は「欧州の7カ国、英国、アイルランド、スイス、スペイン、ドイツ、フランス、ポルトガルに、1980年以降、通算6カ月以上の滞在歴を有する方の血液や臓器を、輸血や移植材料として用いないこと」を関係先に通知しました。これを受け当財団では、当面、下記の対応をとることとしましたのでお知らせします。1) 骨髄バンクのコーディネーター過程で滞在歴について質問を行い、該当者はコーディネーター終了とし、ドナー登録については保留扱いとします（ドナー登録は継続されているが、患者とは適合検索しない）。具体的には、ドナー候補者となったときの初期アンケート、確認検査（3次検査）時、最終同意面談時——の各段階で確認します。2) ドナー登録時の対応は、現在慎重に検討中です。但し、ドナー登録希望者から質問があった場合は、上記1の取り扱いを説明いたします。クロイツフェルト・ヤコブ病の動向は注視しておりますが、現在のところ、骨髄バンク事業に対して甚大な影響を与えることは回避できるものと思われまます。

② 厚生労働大臣に、患者と家族が「ドナー30万人早期達成」を陳情

4月19日（木）、骨髄移植を必要としている患者家族の有志13人が、厚生労働省に坂口力厚生労働大臣を訪ね、ドナー登録30万人の早期達成に向けての陳情をおこないました。日本赤十字社の献血ルームや献血会で、ドナー登録の積極的な広報活動をおこない、希望者のドナー登録受付ができるよう体制の整備をしてほしいと、厚生労働省としての支援を要望しました。「白血病になって2年がたつが、いまだにドナーが見つからない」「最近、ドナー登録拡大が低迷しているため、自分にはドナーが見つからないかと思うと胸が張り裂けそう」などの患者や家族からの切実な訴えに、坂口大臣は「日本赤十字社とも話し合い、善処していきたい」と答えました。なお同メンバーは、3月7日に当財団に対してもドナー登録推進の強化について、文書で要請をしておりました。

3 中央省庁での献血会でドナー登録受付が、相次いで実施へ

4月のドナー登録者は1302人で、取消者数は660人、実質増加数は642人でした。登録会は26回実施され(うち献血並行型20回)、合計375人の方にご登録をいただきました。都道府県別の登録会の開催数は、沖縄9回、東京5回、栃木3回、兵庫2回、福岡2回、北海道1回、大阪1回、鹿児島1回、宮崎1回、宮城1回という実績でした。中央省庁の各庁舎で実施されている献血会で、相次いで、ドナー登録受付がおこなわれることになりました。すでに、7月に農林水産省、8月に経済産業省での実施が決定しており、国土交通省などでも検討されています。今後、こうした動きが全国に波及することが期待されます。

4 東京で「AC30年の歩み展」、記念総会が大阪で開催されます

社団法人公共広告機構(AC)の創立30周年記念総会が、5月25日(金)、大阪・北区のリーガロイヤルホテルで開催されます。当財団への資料請求の電話数は、マスコミでの放送、掲載数と比例しています。とりわけ、ACのテレビCM、新聞広告による力は大きなものがあります。昨年後半から、景気の影響もあり、公共広告は前年の1/10程度まで激減している状況が続いていました。今年のアンディ・フグのCMは、心を打つすばらしい作品でありながら、これまで目にする機会が少なかったのですが、ここにきて、登場回数が増えてきています。一般の方々の関心も高まっていくことと思います。なお、5月18日まで東京・銀座の電通ギャラリー(電通銀座ビル1階)で、30年の歴史を作品と主な出来事の年表でふりかえる「ACの歩み」展が開催されています。

5 「全国骨髄バンクボランティアの集いin鳥取」が開催されます

5月19日(土)、米子コンベンションセンターで「全国骨髄バンクボランティアの集いin鳥取」が開催され、全国各地の骨髄バンクボランティアの方々、約200人が集います。地元では、ドナー登録会開催なども企画されており、骨髄バンクの普及啓発の好機になることと思います。当日は記念式典、地元芸能のアトラクション、東ちづるさんと大谷貴子さんのトークショーが予定されています。翌20日(日)には米子市文化ホールにおいて、NPO法人全国骨髄バンク推進連絡協議会の総会、代表者会議が開催されます。

6 「21歳の別離」(遠藤充著)が文庫になりました

遠藤允著『21歳の別離』(1994年発行)がこのほど文庫になりました(学研M文庫・本体価格520円)。本著は、慢性骨髄性白血病を発病、アメリカで適合するドナーが見つかり骨髄移植を受けたものの、93年1月肝不全などのために亡くなった中堀由希子さんの病気との闘い、青春と死を描いたもの。中堀さんは、生前、骨髄バンクのドナー登録を精力的に訴え続けました。彼女の涙で、骨髄バンクを知った人、心を動かされドナー登録をした人も少なくありません。当財団創立10年目の今年、文庫本の表紙でウエディングドレスの中堀さんの微笑みに出会えます。中堀さんが出演した当時のテレビCMを当財団のホームページで見ることができます。インフォメーションコーナー(<http://www.jmdp.or.jp/info/index.html>)から、テレビコマーシャルをクリックしてください。

7 「白血病と言われたら」の増補改訂版が発行されました

NPO法人全国骨髄バンク推進連絡協議会編「白血病と言われたら」の「増補改訂版」が発行されました。初版の2倍半、248ページにバージョンアップされています。病気や治療法の解説、医療情報と支援制度の紹介など、より詳細に具体的に解説されています。1冊500円(消費税別途)、送料実費負担。お問い合わせ、お申込みは、同協議会事務局 電話03-3356-8217まで。

8 舞台「友情」が東京、名古屋で再演へ。アメリカ、台湾公演も予定

一昨年、昨年と東京、関西地区で公演がおこなわれ好評をばくした、白血病の少女とその同級生の物語「友情-Friendship-秋桜(コスモス)のバラード」が再演されます。東京公演は6月28日(木)~7月1日(日)、東京・東品川の天王洲アイル・アートスフィアで(大人:4500円、高校生以下:1800円)。お問い合わせは「愛のチャリティー劇場」実行委員会事務局 電話03-5427-1822まで。名古屋では8月3日(金)~8月27日(月)、名古屋市中区の中日劇場でのロングラン公演になります。(一般:5000円、高校生以下:3000円)お問い合わせは中日劇場 電話052-263-7171(代表)まで。8月には、この物語の元となる実話があったアメリカでの公演が、ロスアンゼルス市でおこなわれます。10月には台湾での公演や、関西地区での公演も予定されています。この機会にぜひ、多くの方にご覧いただきたいと思ひます。

9 骨髄バンクの認定施設が追加されました。

当財団認定の非血縁間骨髄移植・採取施設として、2月に京都第一赤十字病院（血液内科）、4月に東京大学医科学研究所附属病院（小児細胞移植科）、長野赤十字病院（第一内科）が追加認定されました。現在の認定施設数は、122施設（採取のみの認定7施設も含む）、164診療科です。

国際協力事業の状況（）、HLA照合サービス状況期間

日本 米国	
米国 日本	
日本 台湾	
台湾 日本	
日本 韓国	
韓国 日本	
その他の国 日本	

* 4半期ごとに掲載です。

お知らせ